



西高だより

鼓動

Sound of Heart

山形県立酒田西高等学校
全日制 通算124号

令和7年7月15日

入学おめでとう

4月8日(火)全日制的入学式が行われました。95名の新入生が入学許可を受けました。これからの高校生活が充実したものとなるよう仲間とともに頑張ってください。



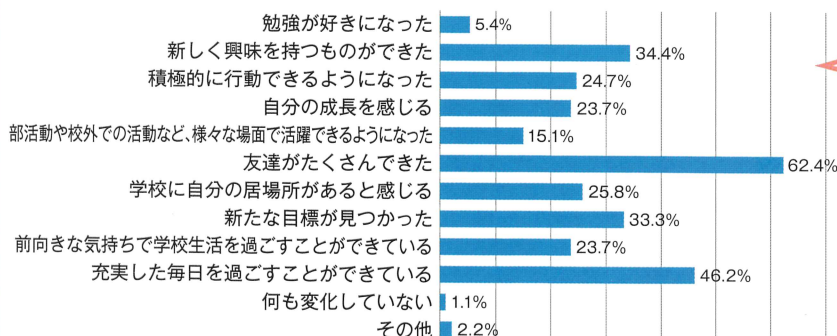
新入生誓詞 村下琉星さん



1年次生集合写真

卒業生の進路実績や学校の雰囲気、家族や先生などからの勧めで西校への進学を決めた生徒が多い様子。中学生の皆さん、学校説明会や体験授業に積極的に参加してぜひ西校の雰囲気を感じてください。

Q2 酒田西高校に入学してどのような「良い変化」がありましたか



入学して友だちが増え、充実した学校生活を送っている生徒が多い様子。新しいことに興味を持ったり、新たな目標を持ったりと積極的に行動できるようになった結果、自分の視野が広がり、成長を感じていることがわかります。

「なんのために生まれて…」
東京での仕事を終えてふるさとに戻った阿部さんは、人の心のよりどころとなる「もうひとつのふるさと」をつくりたいと、大沢地区を拠点に、自然や食、音楽、映像を通して里山の魅力発信に取り組んでいました。豪雨で活動は一時中断しましたが、その思いは変わらず、不安を抱えながらも歩みを進めていきます。その姿からは、被災地で生きる強さと、本気で地域と向き合う覚悟が伝わってきました。

また、今年は戦後80年という節目の年です。私たちが子どものころ、夏になると戦争や平和について考える機会が多くありました。戦争体験を語る声やテレビ番組、アニメ「火垂るの墓」など、胸に残る記憶があります。最近放送された連続テレビ小説「あまちゃん」では、アンパンマンの作者・やなせたかしさんの戦争中の様子が描かれていました。「なんのために生まれて、なにをして生きるのか」。この歌詞には、やなせたかしさんが幼少期から抱き続けた、命や生き方への問いが込められていると思います。ふとしたときに、「アンパンマンのマーチ」を口ずさんでみてください。

阿部さんもやなせたかしさんも、自分の経験や思いをもとに、誰かのために行動してきました。大きなことだけでなく、かまいません。身近な誰かのためにできることを、少しだけ考えてみてください。それが自分を支える力となり、未来への希望につながると思います。自分らしく根を張って生きることを、大切にしていきましょう。

校長 高橋 秀典



昨年7月の酒田豪雨から1年が経ちました。「復旧ではなく復興を」と発信し続けているのが、酒田出身の阿部彩人さんです。先日、その阿部さんの話を聞く会に参加しました。

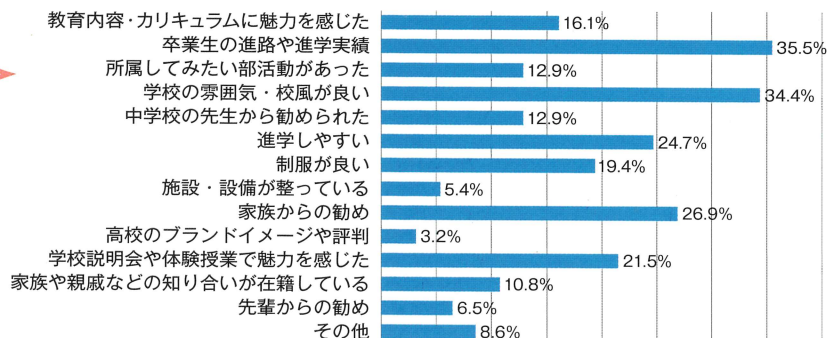
最新ニュース

AI・デジタル教室新設



昨年、文部科学省の高等学校DX(Digital Transformation)加速化推進事業に採択され、AL教室(アクティブラーニングルーム)を整備しました。可動式の机や椅子・ホワイトボード、高性能PCやプロジェクター一体型スクリーン、3Dプリンタ、音響設備などに加え、さらに高速通信環境を整えることにより、校内外の多様な方々と繋がりを広げ、学びを展開し探究学習を行っていきます。特に情報分野では「データサイエンス」や「AI(人工知能)」の活用、学習を、大学や企業との連携を通して行うことで、深い理解と創造的な思考を育む学習を進めていく予定です。

Q1 酒田西高校を進学先に選んだ理由は何ですか



入学して早3か月……
新入生を対象に「酒田西高校を進学先に選んだ理由」と、「酒田西高校に入学してどのような良い変化があったか」という2つについてアンケート調査を実施しました。

新入生アンケート



